

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 オンキヨー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6628 URL http://www.jp.onkyo.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大舘 宗徳
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 中野 宏 TEL 06-6226-7343
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,162	5.2	1,486	-	2,177	-	1,831	-
25年3月期第3四半期	23,915	24.0	537	-	971	-	900	-

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 71百万円 (-%) 25年3月期第3四半期 1,082百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	29.78	-
25年3月期第3四半期	14.64	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	28,524	6,181	20.1	93.03
25年3月期	27,287	6,179	20.8	92.31

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,721百万円 25年3月期 5,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	12.6	1,000	35.0	500	30.1	400	8.5	6.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	61,903,165株	25年3月期	61,903,165株
26年3月期3Q	402,138株	25年3月期	400,350株
26年3月期3Q	61,502,210株	25年3月期3Q	61,503,256株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この第3四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における外部環境は、米国全体の景気回復はゆるやかに進んでいるものの、コンシューマーエレクトロニクス市場においては市場価格の下落等厳しい状況が続いています。欧州においては依然として景気が好転する大きな動きがなく、中国や新興国の景気は減速気味で推移を続けております。一方、国内経済については、輸出企業の業績こそ回復基調で推移しているものの、当社を含めた家電業界につきましては、海外メーカーとの競争とデジタル家電の消費低迷が継続しており、極めて厳しい事業環境が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、経営理念である『VALUE CREATION』に基づき、主力ラインナップのAVレシーバー等の市場投入に加え、サウンドバーをはじめとするライフスタイルの変化に対応した新しいシステムやスマートフォン等モバイル端末に対応したヘッドホン市場に投入するなど、新たな顧客の創造に積極的に取り組んでおります。また、当社グループは2005年より、e-onkyo musicを通じて日本初のハイレゾコンテンツの配信サービスを開始しており、ジャズやクラシックはもとよりポップスからアニメソングにいたるまで、幅広いジャンルで充実したコンテンツ提供によるサービス向上に注力し、音楽の入口から出口まで一貫したハイレゾ対応に取り組んでおります。また、長年培ったオーディオ生産技術や品質管理ノウハウを基盤にして、ホームエネルギー関連製品(HEMS)等、オーディオ以外の新規カテゴリ製品の生産への取り組みも開始いたしました。

当社グループは、従来の主力製品に軸足を置きながらも、変化するマーケットニーズや新たな市場に対応すべく、独自の技術やノウハウを活かした新規事業領域への展開を推し進めております。また、Gibson Brands, Inc. やティアック株式会社との資本業務提携のより一層の深化を進めるべく、マーケティング関連、開発、生産、販売等、多部門にわたり協業を強化しております。さらには、中国へのR&D拠点の移設や生産拠点の集約等により、生産効率を図るとともに中国国内の需要獲得に向けた体制を整備し、事業拡大のための基盤強化にも取り組んでおります。

以上の結果、事業構造改革中における当第3四半期連結累計期間の業績は、車載用スピーカーが好調に推移し、ヘッドホンやサウンドバー等ライフスタイル系商品の市場投入による寄与があり、売上高は前年同四半期比1,247百万増収の25,162百万円となりました。一方、営業損益につきましては、円安ドル高の影響による円換算ベースでの製品原価の上昇と欧州市場での市況低迷に伴う販売価格の下落、新ジャンル商品への市場参入に伴う販売費の増加などにより、前年同四半期比948百万円減益の1,486百万円の営業損失となりました。また、経常損益は、前年同四半期比1,205百万円減益の2,177百万円の経常損失となりました。四半期純損失につきましては、前年同四半期比931百万円減益の1,831百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

AV事業

AV事業におきましては、Bluetooth、Wi-Fi機能を内蔵したAVレシーバーのエントリーモデル発売に加え、テレビまわりの環境を手軽にアップグレードしBluetooth機能内蔵でワイヤレス音楽再生も楽しめるパーティタイプのサウンドシステム等、新たなオーディオリスニングスタイルと高品質を両立させる新製品の市場投入を積極的に行いました。また、新たにオーバーヘッドタイプおよびインナーイヤータ입共にiPhone等のコントロール機能を搭載したヘッドホンの新モデルを発売し、市場で高く評価されております。

国内市場におきましては、主力のミニコンポFRシリーズの新製品X-NFR7/NFR-9/D-NFR9の市場投入やサウンドシステムLS-T10/LS-B50/LS-B40等の市場投入を行いました。売上高は前年同四半期並みの4,174百万円となりました。また、海外につきましては、欧州では市場が低調に推移し北米市場では販売価格の下落がみられましたが、円安による為替の影響などにより、売上高は前年同四半期比1,219百万円増収の14,170百万円となりました。その結果、AV事業の売上高は前年同四半期比1,136百万円増収の18,345百万円となりました。損益は、円安ドル高による製品原価率の増加に加え欧米市場での価格競争の激化などの影響により前年同四半期比865百万円減益の20百万円のセグメント損失となりました。

OEM事業

OEM事業における売上高は、車載用スピーカーが堅調に推移し、前年同四半期比681百万円増収の6,613百万円となりました。また、中国への生産移管による原価低減効果や国内生産子会社のEMS事業による黒字化などが寄与した結果、損益につきましては、71百万円のセグメント利益(前年同四半期比180百万円改善)となりました。

その他

その他事業の売上高は、前年同四半期比571百万円減収の204百万円となりましたが、損益は124百万円のセグメント損失(前年同四半期比28百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,236百万円増加し28,524百万円となりました。有利子負債は前連結会計年度末比855百万円増加の9,230百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比1百万円増加の6,181百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

今後の事業環境の変化および当社グループ業績の推移を慎重に見極め、必要に応じて見直しを行い、変更があれば速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

リサイクル費用引当金

2012年6月30日にPC事業会社であるオンキヨーデジタルソリューションズ株式会社(以下、「ODS社」といいます。)をMoneual Onkyo Lifestyle Inc.へ売却するにあたり、過去のパソコンリサイクル費用の取扱いにつき協議を続けてまいりましたが、2013年7月1日付けの覚書により売却以前に販売されたパソコンに関わるリサイクル費用は当社負担とすることで合意に至りました。この合意に伴い、将来のパソコンリサイクルに要する費用に備えるため、対象売上台数と回収率を基準としてリサイクル費用の発生見込額を計上しております。なお、パソコンリサイクル費用の負担を引き受けるにあたり、その対価として同額の資産をODS社より譲り受けております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	3,033
受取手形及び売掛金	9,407	8,578
商品及び製品	1,928	4,200
仕掛品	70	103
原材料及び貯蔵品	398	690
その他	992	730
貸倒引当金	95	109
流動資産合計	17,874	17,227
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,563	2,563
その他(純額)	1,921	1,834
有形固定資産合計	4,484	4,397
無形固定資産		
のれん	364	354
その他	584	585
無形固定資産合計	949	940
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687	5,563
その他	292	396
投資その他の資産合計	3,979	5,959
固定資産合計	9,413	11,297
資産合計	27,287	28,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,455	8,142
短期借入金	4,330	4,263
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,200	600
製品保証引当金	464	564
その他	3,437	2,451
流動負債合計	16,887	16,022
固定負債		
新株予約権付社債	-	600
長期借入金	2,845	3,767
再評価に係る繰延税金負債	177	176
退職給付引当金	178	105
リサイクル費用引当金	-	164
その他	1,019	1,507
固定負債合計	4,220	6,320
負債合計	21,107	22,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	2,232	2,232
利益剰余金	594	1,332
自己株式	52	53
株主資本合計	5,402	3,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	1,414
繰延ヘッジ損益	171	26
土地再評価差額金	316	318
為替換算調整勘定	335	539
その他の包括利益累計額合計	274	2,246
新株予約権	22	22
少数株主持分	479	437
純資産合計	6,179	6,181
負債純資産合計	27,287	28,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,915	25,162
売上原価	18,014	19,001
売上総利益	5,901	6,161
販売費及び一般管理費	6,438	7,647
営業損失()	537	1,486
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	-	66
その他	39	128
営業外収益合計	47	202
営業外費用		
支払利息	143	158
為替差損	69	342
持分法による投資損失	48	-
支払手数料	100	280
その他	120	112
営業外費用合計	481	893
経常損失()	971	2,177
特別利益		
固定資産売却益	2	102
負ののれん発生益	-	27
事業整理益	129	-
その他	34	-
特別利益合計	166	129
特別損失		
持分変動損失	-	21
関係会社清算損	-	39
その他	4	0
特別損失合計	4	62
税金等調整前四半期純損失()	809	2,109
法人税、住民税及び事業税	81	99
法人税等調整額	17	192
法人税等合計	98	93
少数株主損益調整前四半期純損失()	908	2,016
少数株主損失()	7	184
四半期純損失()	900	1,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	908	2,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	949
繰延ヘッジ損益	162	145
土地再評価差額金	-	1
為替換算調整勘定	33	554
持分法適用会社に対する持分相当額	55	293
その他の包括利益合計	174	1,944
四半期包括利益	1,082	71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074	151
少数株主に係る四半期包括利益	8	223

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	AV事業 (注1)	OEM事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,208	5,931	23,140	775	23,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	406	462	868	272	1,141
計	17,614	6,394	24,008	1,048	25,057
セグメント利益又は損失 ()	845	108	736	153	582

(注1) 「AV事業」の海外売上高は、北米5,487百万円、欧州5,162百万円、アジア1,807百万円、その他地域494百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	736
「その他」の区分の利益	153
全社費用(注)	1,120
四半期連結損益計算書の営業損失()	537

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	A V事業 (注1)	O E M事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,345	6,613	24,958	204	25,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	140	206	332	538
計	18,411	6,754	25,165	536	25,701
セグメント利益又は損失 ()	20	71	51	124	73

(注1) 「A V事業」の海外売上高は、北米5,946百万円、欧州5,162百万円、アジア2,477百万円、その他地域584百万円であります。

(注2) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理および補修部品の販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	51
「その他」の区分の利益	124
全社費用(注)	1,412
四半期連結損益計算書の営業損失()	1,486

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費用であります。